

国際自動車整備科		2023年度 授業計画			
時期	1年後期	単元	学科	教科名	エンジン構造入門2
科目	自動車工学	教科書等 持参品	基礎自動車工学 三級自動車ガソリン・エンジン		発行日 2020年11月25日
総時間	30時限(48時間)				教科担当 教科担当
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当					
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造・作動について指導する。					
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入) 自動車整備士の学習に必要な基礎知識を指導する					
3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか) <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車整備に必要な用語を知る 2. 自動車整備に必要な部品名称を読むことができる 3. 自動車整備に必要な部品の作動を日本語で説明できる 4. 自動車整備に必要な整備機器を日本語で説明できる。 5. 自動車整備士として必要な安全知識を得る 					
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目) 筆記試験(100点満点)で60点以上を合格とする。最低限必要となる責任点は設定しない。 授業中に実施する理解度確認テストは期末試験の58点(29回分)に組み入れる。					
5. 準備学習 毎回の授業開始前までに、授業で進む予定のところまでルビを振るなど、声を出して読めるようにしておくこと					

国際自動車整備科

2023年度 授業計画

時期	1年後期	単元	学科	教科名	エンジン構造入門 2	
6. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					7. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	■ 第2章 エンジン本体 その1				テキスト	
2	■ 第2章 エンジン本体 その2				・三級自動車ガソリン・エンジン	
3	■ 第2章 エンジン本体 その3					
4	■ 第2章 エンジン本体 その4				各自準備	
5	■ 第2章 エンジン本体 その5				・マーカーペン (2色以上)	
6	■ 第2章 エンジン本体 その6				(2色以上のボールペンでも可)	
7	■ 第2章 エンジン本体 その7					
8	■ 第2章 エンジン本体 その8				場所	
9	■ 第2章 エンジン本体 その9				・各ホームルーム教室	
10	■ 第2章 エンジン本体 その10					
11	■ 第3章 潤滑装置 その1					
12	■ 第3章 潤滑装置 その2					
13	■ 第3章 潤滑装置 その3					
14	■ 第3章 潤滑装置 その4					
15	■ 第3章 潤滑装置 その5					
16	■ 第4章 冷却装置 その1					
17	■ 第4章 冷却装置 その2					
18	■ 第4章 冷却装置 その3					
19	■ 第4章 冷却装置 その4					
20	■ 第4章 冷却装置 その5					
21	■ 第5章 燃料装置 その1					
22	■ 第5章 燃料装置 その2					
23	■ 第5章 燃料装置 その3					
24	■ 第5章 燃料装置 その4					
25	■ 第5章 燃料装置 その5					
26	■ 第6章 吸排気装置 その1					
27	■ 第6章 吸排気装置 その2					
28	■ 第6章 吸排気装置 その3					
29	■ 総復習					
30	■ 期末テスト					
	授業の途中で、中間テストを2回実施する					
	※授業の終了時に理解度確認テストを実施する					
	※授業の開始時に理解度確認テストを実施する					

■ : 対面授業